かながわ
県のたより

9月号
令和7(2025)年
No.846

本と出会う特等席

読書に時間を割きにくい今、あえて「読む」ことに集中できる場所を。
県立図書館には、まさに、そんな読書のための特等席が用意されています。
読書の秋、本の世界を楽しんでみませんか。

詳しくは2・3面でご紹介

県立図書館

- 開館時間　火～金曜 9時～19時(土曜・日曜、祝・休日は17時まで)
- 休 館 日　月曜(祝・休日の場合は開館)、第2木曜(祝・休日の場合は翌金曜)、年末年始、資料総点検期間
- 所 在 地　横浜市西区紅葉ケ丘9-2
- 交　　通　JR・市営地下鉄 桜木町駅から徒歩10分
  京急 日ノ出町駅から徒歩13分
- 問 合 せ　☎045(263)5900(自動音声案内)

詳しくはこちら

県の人口と世帯
(令和7年7月1日現在)

総人口 9,222,299人　男 4,569,705人　女 4,652,593人
前年同月比 6,039人減
世帯数 4,441,906世帯

県のたよりホームページ版
https://www.pref.kanagawa.jp/tayori/

※総人口には性別不詳を含むため、男女の合計と一致しない場合があります

学びが広がる とっておきの場所

令和４年9月に新しく生まれ変わった県立図書館本館は、本を借りるだけでなく、静けさに浸り、リラックスできる創造空間として、読書のためにデザインされた家具類や設備を備えるなど、皆さんが「読書」に没入できるよう工夫を凝らしています。人気のコーヒー店もあり、おしゃれなカフェのような落ち着いた空間でゆっくりと読書を楽しむことができます。

神奈川県立図書館
Kanagawa Prefectural Library

1~3F ロングテーブル

1階から3階の各階南側にある「ロングテーブル」。この机は、本を読む姿勢をとったときに腕が触れる角がカーブしており、長い時間の読書にも適しています。

「司書箱」で思わぬ出会いを

地域情報課 塚田司書

1~3F 司書箱

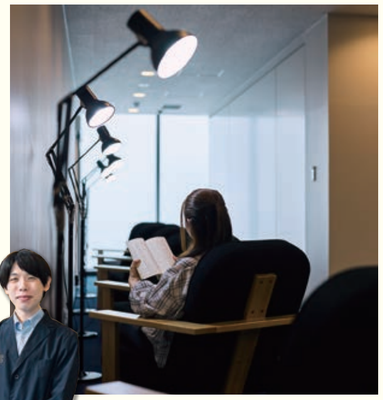
司書が自由な発想で個々にテーマを設定し、面白いと思った本や今こそ読みたい名著などに紹介文を添え、館内17カ所に展示しています。風俗習慣の書架に「ファッション」、歴史の書架に「猫」など、さまざまなテーマの展示が期間で入れ替わり“思わぬ”本との出会いを楽しめます。

4F 生涯学習相談デスク

生涯学習を「これから始めたい方」から、学び直しや資格取得、ボランティア活動等について「具体的に知りたい方」まで、生涯学習相談員が相談に応じています。来館の他、電話や相談フォームで相談を受け付けています。
☎045(263)5900(自動音声案内で4番を選択)

詳しくはこちら

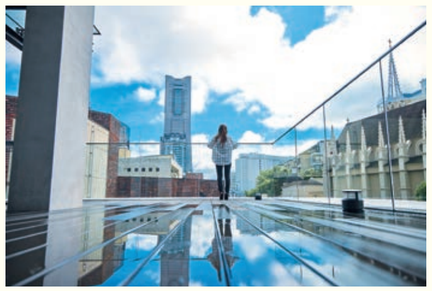
読書に没入したいときは


企画協力課 山崎司書

2F 静寂読書室

“静けさ”をテーマにした空間で、声を出すこともパソコンや筆記具の使用も不可としており、音のない空間で本が読めます。

ほっと一息つきたいときは



3F・4F オープンテラス

横浜みなとみらい地区の方角に開かれた眺望の良いテラスで、富士山が見える場所もあります。屋外が心地よい季節には、リラックスした読書の場にもなります。

【上記記事に関する問合せ】 県立図書館 ☎045(263)5900(自動音声案内) FAX045(241)0985

知事メッセージ

ネット社会になり、最近は本が売れない時代になりました。ネットで簡単に本が手に入ることから、街の書店もどんどん姿を消しつつあります。かつては、書店内をうろうろするだけで、ワクワクしたものです。しかし、今や活字文化そのものが危機にひんしていると言っても過言ではありません。

そんな時代だからこそ、図書館の存在意義というのは、これまで以上に大きくなっているのではないでしょうか。

神奈川県立図書館は、爽やかな秋風が心地よい横浜の紅葉ケ丘に立地しています。昭和29年開館ですが、令和４年にリニューアルを行い、多様な読書スペースや交流エリアを新たに設けることで、本や人とのつながりを広げることができる「価値を創造する図書館」として生まれ変わりました。

一人で黙々と本を読むだけでなく、同じような興味・関心を持った人同士が交流を深めることも想定したつくりとなっています。読書を通じた仲間づくりは未病改善にもつながるはずです。今年の秋はぜひ県立図書館に足を運んでみてください。

神奈川県知事 黒岩祐治

歌川広重「東都名所高輪廿六夜待遊興之図」

ギャラリー展示

無料

江戸時代と本
—花開いた出版文化—

開催期間 9月13日(土)～令和8年3月11日(水)

江戸時代に出版された娯楽小説の変遷、当時の板元(出版物の制作・販売者)や貸本屋の役割、庶民の読書事情などが分かる資料と作品を紹介します。
また、歌川広重の描いた浮世絵『東都名所高輪廿六夜待遊興之図』のマスターレプリカの展示やスライドショー形式の映像コーナーも楽しめます。

柳亭種彦/作、歌川国貞/画
「偐紫田舎源氏」

大河ドラマで注目の「蔦屋重三郎」関連本も紹介

『東海道中膝栗毛』や『解体新書』など知名度の高い資料から、NHK大河ドラマ「べらぼう」にも登場した、四方赤良(大田南畝)が序文を寄せ、蔦屋重三郎によって出版された『狂歌はまのきさご』など、普段はなかなか見ることのできない貴重な資料を紹介します。

「蔦屋重三郎」関連本

もう一つの県立図書館 ／ 県立川崎図書館

ものづくり技術に関する工学、産業技術、自然科学分野の図書や雑誌を収集する「ものづくり情報ライブラリー」として、特色あるサービスを展開しています。

- 開館時間:月～金曜 9時30分～19時30分(土曜、祝・休日は17時30分まで)
- 休館日:日曜(祝日の場合を含む)、第2木曜(祝・休日の場合は翌金曜)
  年末年始・資料総点検期間
- 所在地:川崎市高津区坂戸3-2-1 KSP西棟2F
- 交通:JR 武蔵溝ノ口駅から徒歩15分
- 問合せ:☎044(299)7825 FAX044(322)8878

詳しくはこちら

vol.71 ともいきバトン 今月は、一般社団法人F・マリノススポーツクラブ スクール事務局の斎藤 幸宏さんに伺いました！

あらゆる人に、スポーツを！

私たち横浜F・マリノスでは、サッカーを通じて、スポーツをする喜びや楽しさを伝えています。知的障がい児や発達障がい児を対象とした活動としては、サッカースクールの「にじいろくらす」や、一日からでも参加ができる「ふぁんたいむ」を県内各地で実施しています。
普段とは違う環境に不安を抱いていた子どもたちがサッカーを通じて、いつしか距離が縮まり、笑顔になる瞬間は、子どもたちの成長をサポートできたことが実感でき、大変感慨深いです。
障がい者スポーツのさらなる発展と、子どもがさまざまな事にチャレンジしていける社会を目指し、我々の活動を入り口としてあらゆる人が社会と関わり、生涯スポーツに取り組める環境づくりをこれからも進めていきます。

このコラムでは、「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念に共感していただいている方々のメッセージをご紹介しています。

斎藤 幸宏さん

一般社団法人F・マリノススポーツクラブについて詳しくはこちら

○○に入る言葉を答えてください。クイズに正解した方の中から抽選で5名の方に「ともいきTシャツ」をプレゼント！

「○○○○○○社会かながわ憲章」

正解者の中から、「ともに生きる社会かながわ憲章Tシャツ(ブルー・男女兼用サイズ)」をプレゼントします！
HPかはがきで住所、氏名、電話番号、クイズの答え、Tシャツの希望サイズ(M・L)を明記し、9月1日(月)～26日(金)までに〒231-8588県共生推進本部室共生企画グループ(所在地省略可)宛てにご応募ください。
※個人情報は適切に管理し賞品の発送のみに利用、当選の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます

HPからの応募はこちら

【ともいきバトンに関する問合せ】 県共生推進本部室 ☎045(210)4961 FAX045(210)8854

ともに生きる 神奈川

ともに生きる社会かながわ憲章

一 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします

一 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します

一 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します

一 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

平成28年10月14日 神奈川県

憲章についてはこちら

投稿写真 | 私の好きな神奈川

「秋 来たる」

写真:横浜市·うた時計れんさん

北条氏五代100年の小田原城には、国内外からの観光客も美しい日本の秋の雲もやって来ます。

▶場所:小田原城(小田原市)
▶撮影:令和6年9月

かながわ 県のたより

編集／発行(毎月1日発行)
〒231-8588 横浜市中区日本大通1
神奈川県 政策局 知事室
☎045(210)1111(代表)
☎045(210)3662 FAX045(210)8834

県公式X(旧Twitter)
@KanagawaPref_PR

※記事は8月14日時点の内容であり、変更になる場合があります

開催まで約2カ月!

東京2025デフリンピック 神奈川ゆかりの選手を応援しよう

東京2025デフリンピック大会エンブレム

【大会期間】11月15日(土)~26日(水) -12日間-

デフリンピックは「きこえない·きこえにくい人のためのオリンピック」です。2025年の大会は、100周年の記念すべき大会であり、日本初開催となります。直前イベント&壮行会を開催しますので、さまざまな競技に出場する神奈川ゆかりの選手たちを激励し、大会に臨む雄姿を見届けましょう!

大会について詳しくはこちら

直前イベント&壮行会 in かながわ

応援しよう、デフリンピック!スポーツでつながろう!

10.13 月·祝 入場無料·申込不要 **11時~16時**

クイーンズスクエア横浜
クイーンズサークル(横浜市西区)
〈交通〉みなとみらい線 みなとみらい駅直結

提供:日本デフ陸上競技協会
©箱山 旦茉

さるがく あやか
猿樂 彩香選手
(横浜市在住)
デフ陸上 女子日本代表
100m、200m、
4×100mリレー、
4×400mリレー

猿樂選手からのコメント

ママアスリートとしての初挑戦!私にとってデフリンピックは恩返しの場なので、感謝の気持ちを胸に精いっぱい頑張ります!女子4×100mリレーで日本代表が出場するのは9年ぶりですが、恐れ知らずなフレッシュさと元気パワーで世界に臨みます!
応援よろしくお願いします!

壮行会 13時開始

神奈川県にゆかりのある日本代表選手が多数参加予定。出場選手を激励し、デフリンピックを盛り上げましょう!

参加予定選手

デフサッカー
男子日本代表
えじま よしたか
江島 由高選手
(横浜市在住)

デフバレーボール
女子日本代表
なかた みお
中田 美緒選手
(横浜市在住)

神奈川ゆかりの選手を紹介→

この他にも県ゆかりのデフリンピック日本代表選手が参加予定!

アスリートトークショー

午前の部 11時40分 午後の部 14時10分

午前と午後に分けて複数の選手が出演予定。大会前の選手たちの熱い思いに迫ります。

出演予定者(午前の部)

ゲスト
タレント
足立 梨花さん

ゲスト
(一社)日本障がい者サッカー連盟会長
北澤 豪さん

その他、「きこえない·きこえにくい疑似VR体験」「手話パフォーマンス」もあります

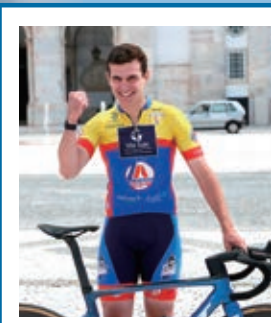
詳しくはこちら

HeroSign®

写真アトラクション ヒーローサイン体験

スポーツ中継でよく見かけるカメラに向かってサイン。体験の様子は、BGM付き動画にしてプレゼントします!

海外選手が事前キャンプ 県内初



アンドレ·ソアレス
André·Soares選手

県は藤沢市と共に、ポルトガルデフリンピック代表選手団を招いて交流事業や練習見学を行います。前回大会の自転車競技金メダリスト、アンドレ·ソアレス選手の他、陸上等に出場する選手が来日します。世界のトップアスリートの姿を間近でぜひご覧ください!

- 日程 11月8日(土)~16日(日)
- 場所 アサンテ スポーツパーク(県立スポーツセンター)

詳しくはこちら

【上記記事に関する問合せ】 県スポーツ課 ☎045(285)0796 FAX045(662)5557

シールぼうや

9月24日~30日は結核·呼吸器感染症予防週間です

県内で発生する結核患者の約半数が70歳以上の高齢者です。結核の早期発見のため、定期的に健康診断を受けましょう。

【問合せ】県健康危機·感染症対策課 ☎045(285)0776 FAX045(633)3770